

MASPRO

BC parabolo

BCアンテナ

取扱説明書

BS・110°CS ANTENNA
BS・110°CSアンテナ 受信周波数 11.7~12.75GHz
BSC45R
DC15V方式



BSデジタルハイビジョン対応

110°CSデジタル放送対応

右旋円偏波用

BS・110°CS(スカパー!e2)受信用です。
スカパー!は受信できません。

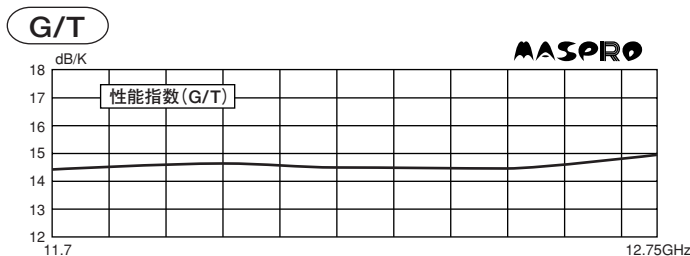


MAStar of PROduction
生産の覇者



高性能G/T値を保証

G/Tは、アンテナ利得とコンバーター雑音指数(NF)によって決まる衛星アンテナの総合性能です。マスプロBCパラボは、高効率ディッシュと高性能コンバーターによって、BSから110°CSまで広帯域にわたって最高水準のG/T値になっていますから、雷雨・豪雨などで衛星電波が弱くなったときに威力を発揮します。



優れた位相雑音特性

局部発振回路の位相雑音は、BS・110°CSデジタル放送を安定した画像で受信するために重要な性能です。コンバーターは、マスプロ独自の発振回路設計により、優れた位相雑音を実現していますから、BS・110°CSデジタル放送受信に最適です。

110°CSデジタル放送に対応

1台のアンテナで、BSデジタル放送と、110°CSデジタル放送の右旋円偏波が受信できます。

⚠ 警告

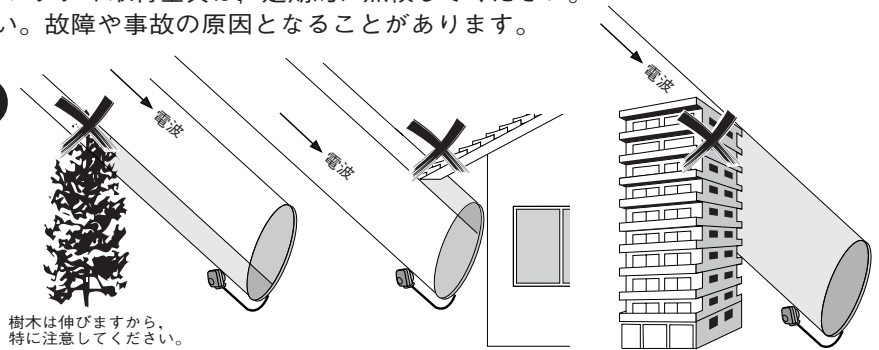
- 雷が鳴出したら、アンテナや引き込みケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
- ディッシュには、塗料やワックスなどを塗ったり、ラベルを張付けたりしないでください。光沢によって、太陽光線が反射してコンバーターに集まり、やけど・故障の原因となります。(3月・10月初旬の13~15時には、特に熱くなります)

⚠ 注意

- アンテナの部品の落下などによって、人や物などに損害を与えたり、危害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。
- 強風のときは危険ですから、取付作業を行わないでください。
- アンテナ取付工事を行うときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。
- 台風などによって、アンテナ・取付金具などに異常があったり、ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか、必ず点検してください。また、アンテナや取付金具が、破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。
- 腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的な点検してください。
- アンテナを改造・分解しないでください。故障や事故の原因となることがあります。

アンテナの設置場所

- アンテナが、しっかりと設置できる場所を選んでください。
- 西南方向の、斜め上方に、障害物(樹木、軒先、ビル、高架道路、崖など)のない場所へ設置してください。



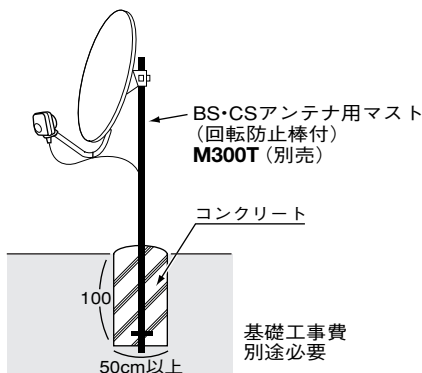
ご注意

BS・110°CSデジタル放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が減衰し、まったく受信できなくなることがあります。

アンテナの設置例

地上設置

- 庭にマストを建てて設置する方法です。
- 手がふれない高さに、アンテナを取付けてください。



フェンス設置

- 取付けは面倒ですが、フェンスの中央に設置すると、丈夫で見た目もよく、邪魔になりません。



BS・CSアンテナ用フェンスベース HBM45(別売)

- 強度の充分確保できるフェンスにしっかりと取付けてください。



BS・CSアンテナ用コンクリートフェンスベース KBM45(別売)

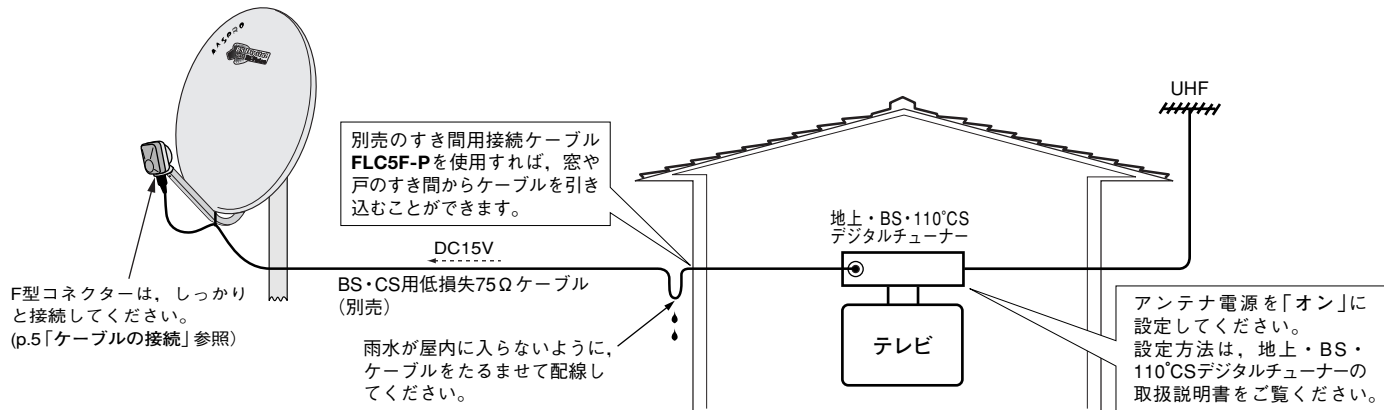
壁面設置

- 木造の場合、木ネジやくぎで、コンクリートの場合、アンカーボルトで、強度の充分確保できる壁面や柱・桁に、しっかりと取付けてください。
- 壁面に設置する場合、屋内への雨水の浸入や強度不足のないように注意してください。



BS・CSアンテナ用サイドベース SBM45E(別売)

アンテナとデジタルチューナーの接続例

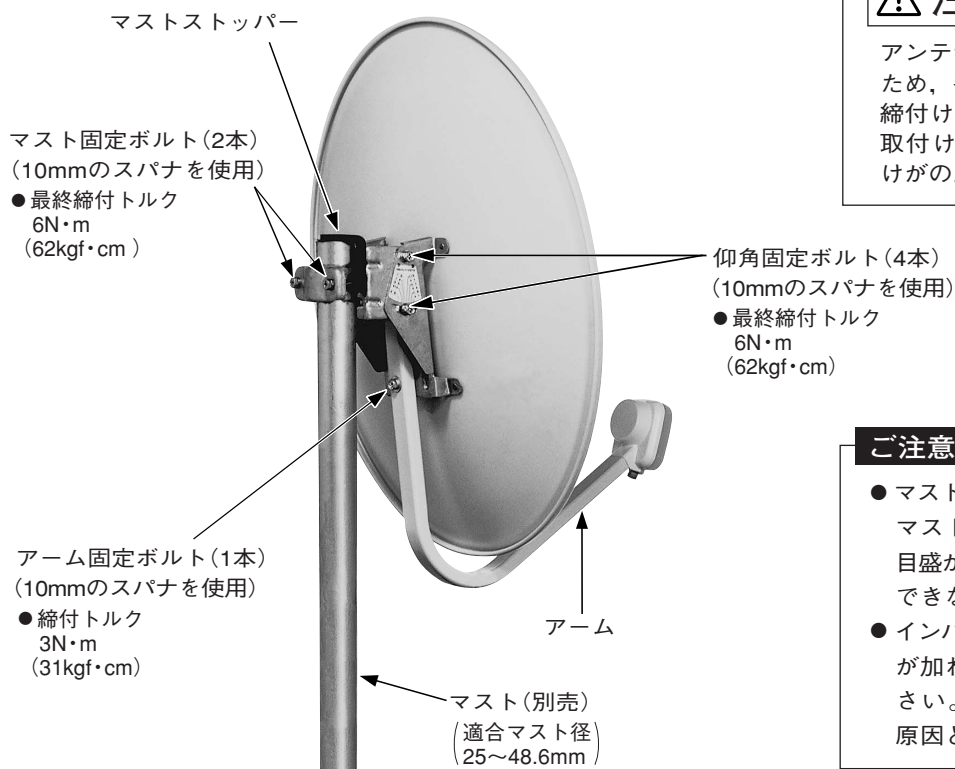


アンテナの組立て・取付け

① 1本のアーム固定ボルトでアームを取付けます。

② マストにアンテナを取付けます。

アンテナが左右に回転する程度に、マスト固定ボルトを10mmのスパナで締付けてください。



⚠ 注意

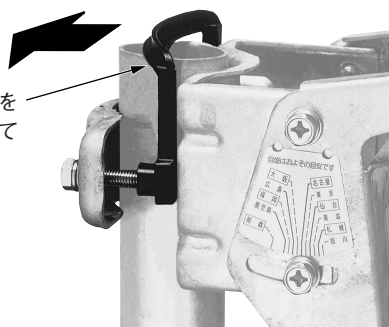
アンテナは、強風の影響を受けやすいため、各固定ボルトを指定のトルクで締付けてください。取付けが不完全な場合、落下して、けがの原因となることがあります。

ご注意

- マストは、必ず垂直に建ててください。マストが傾いていると、地域別仰角目盛が合わなくなり、簡単に方向調整できないことがあります。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は、使用しないでください。固定ボルトの変形や破損の原因となります。

マストの中間に取付ける場合

マストストッパーを矢印の方向へ移動してください。



マストストッパー



アンテナの方向調整

110°CSデジタル放送は、BS放送衛星と同じ軌道位置にあるCS衛星から電波が送られてきます。アンテナは、BSデジタル放送を受信して方向調整をします。

BS・CS用低損失75Ωケーブルで、アンテナと地上・BS・110°CSデジタルチューナーまたはデジタルテレビを接続します。接続方法は、p.3「アンテナとデジタルチューナーの接続例」とp.5「ケーブルの接続」をご覧ください。

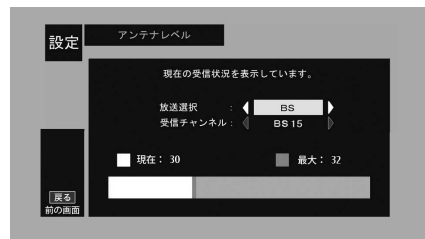
① 方向調整の準備をします。

- 1.アンテナと接続したデジタルチューナーやデジタルテレビの電源を入れ、アンテナ電源の設定を「オン」にします。

ご注意

ブースターなど、他の機器からアンテナへ電源を供給しているときは、必ずアンテナ電源の設定を「オフ」にしてください。

「アンテナレベル」画面の例



- 2.「アンテナレベル」画面を表示します。

●画面の表示方法は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

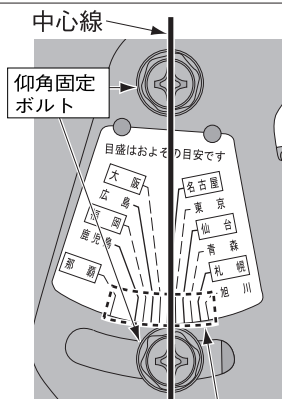
画面の表示は一例で、使用するデジタルチューナーまたはデジタルテレビで異なります。

② 仰角を合わせます。

仰角固定ボルトの中心線に、地域別仰角目盛に表示してある地名を、およそ合わせて、仰角固定ボルトを仮締めしてください。

- 受信点がどの地名に該当しているかは、右の地域別仰角目盛対応図で確認してください。

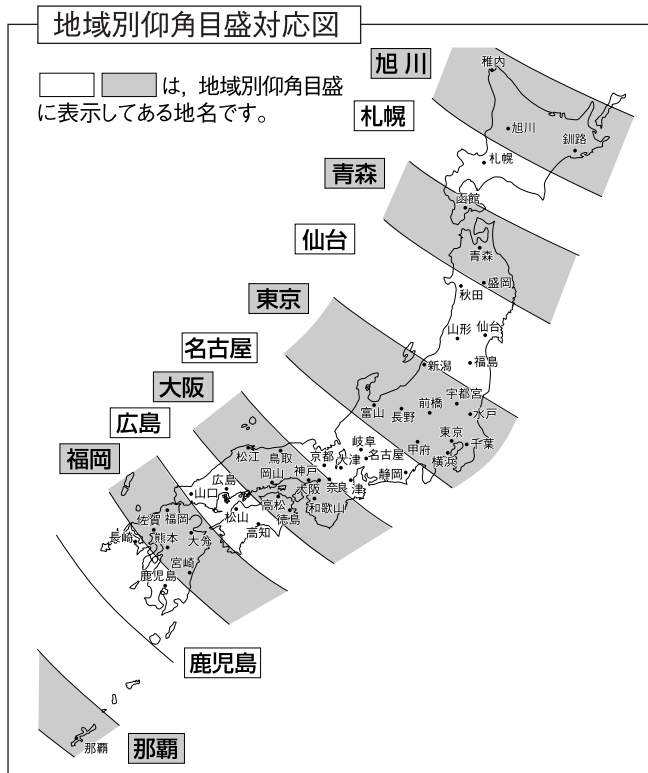
地域別仰角目盛 (およその目安)
(名古屋に合わせた例)



この目盛りを中心線に、およそ合わせます。

地域別仰角目盛対応図

□ □ は、地域別仰角目盛に表示してある地名です。



③ 方位角を調整します。

「アンテナレベル」画面を見ながら、アンテナを真西方向から西南方向に少しずつ動かして、デジタルチューナーまたはデジタルテレビのアンテナレベルの値が最大になるところで、マスト固定ボルトを仮締めしてください。

ポイント

アンテナは、少しずつ動かしてください。

アンテナの方向調整は、左右±1°以内の角度で調整しなければ受信できません。(方向が3°以上ずれると、アンテナレベルの値は「0」になります)
また、「アンテナレベル」画面の表示は、アンテナレベルが変化しても、表示が変わるまでに少し時間がかかりますから、ゆっくりと調整する必要があります。アンテナを少し(1°ぐらい)動かし、2~3秒待って、アンテナレベルを確認しながら調整してください。



方位角の調整

④ 仰角・方位角を微調整します。

アンテナの仰角・方位角を微調整して、アンテナレベルが最大となる位置で、各固定ボルトをしっかりと均等に締付けてください。

きれいに映らないときは、マストが垂直に取付けられているか、もう一度確認し、再度、②からやり直してください。

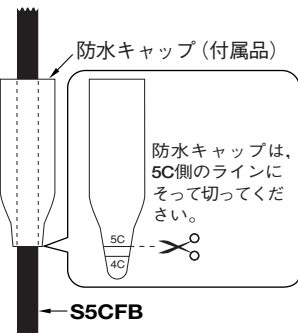
ケーブルの接続

- ① F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

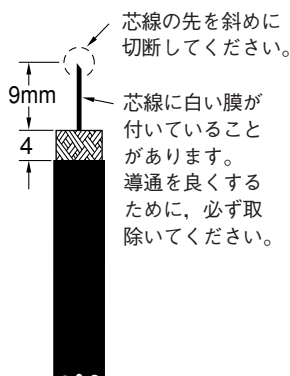
F型コネクタの加工方法

接触不良やショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。

- ① ケーブルを、付属の防水キャップに通してください。

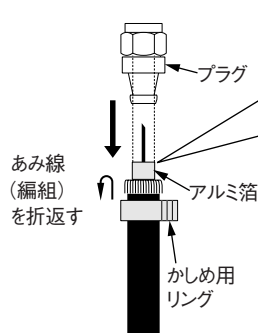


- ② ケーブルの加工 (加工寸法は原寸大です)



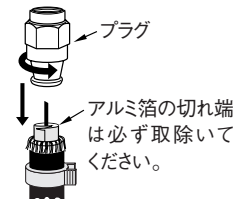
- ③ プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(編組)を折返してください。
3. プラグを強く押し込んでください。



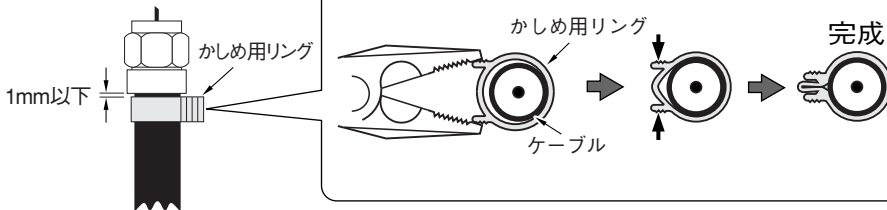
アルミ箔がはがれる場合

プラグの内側にアルミ箔が入るようにアルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、ていねいに押し込んでください。



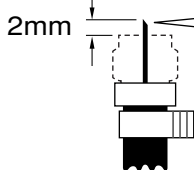
- ④ かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。

完成図



芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。

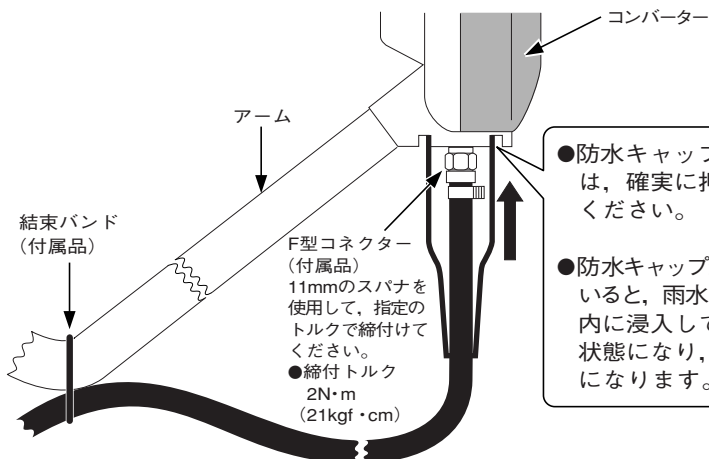


- ② F型コネクタを、コンバータの出力端子へ、しっかりと接続してください。付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込んで、防水キャップが曲がらないように、ケーブルを結束バンドでアームに固定してください。

F型コネクタの取付けができない方は、別売のコネクタ付きケーブルをご利用ください。

- 10mケーブル S5C10MM-P
- 15mケーブル S5C15MM-P
- 20mケーブル S5C20MM-P

上記以外のケーブル長をご希望の方は、必要な長さを測り、電気店にご相談ください。



●防水キャップ(付属品)は、確実に押し込んでください。

●防水キャップが曲がっていると、雨水がケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良になります。

規格表

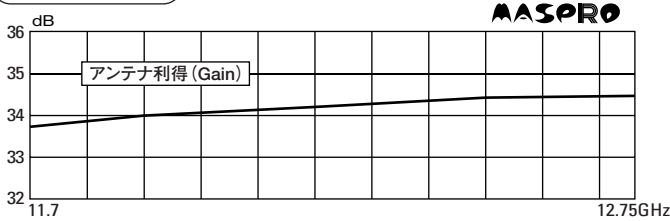
MASPRO

項目	規格
受信周波数	11.7~12.75GHz
受信偏波	右旋円偏波
アンテナ利得	33.7~34.6dB
開口効率	77~80%
性能指数 (G/T)	標準値14.5dB/K (13.3~15.5dB/K)
風圧荷重	7kg(風速20m/s) 26kg(風速40m/s) 59kg(風速60m/s)
耐風速※	受信可能風速20m/s 復元可能風速40m/s 破壊風速60m/s
受風面積	0.19m ²
有効開口径	450mm
出力周波数	1032~2072MHz
コンバーター利得	48~56dB
局部発振位相雑音	標準値 ⊖ 75dBc/Hz (1kHzオフセット) // ⊖ 97dBc/Hz (5kHz //) // ⊖ 106dBc/Hz (10kHz //)
雑音指数	0.5~0.9dB
出カインピーダンス	75 Ω (F型コネクター)
局部発振周波数	10.678GHz
局部発振周波数安定度	±1.5MHz以内
使用温度範囲	⊖30~⊕50°C
電源	DC15V 1.5W (標準値)
外観寸法(仰角40°のとき)	550(H)×460(W)×460(D)mm(マスト径48.6mmのとき)
質量(重量)	約1.5kg
適合マスト径	25~48.6mm

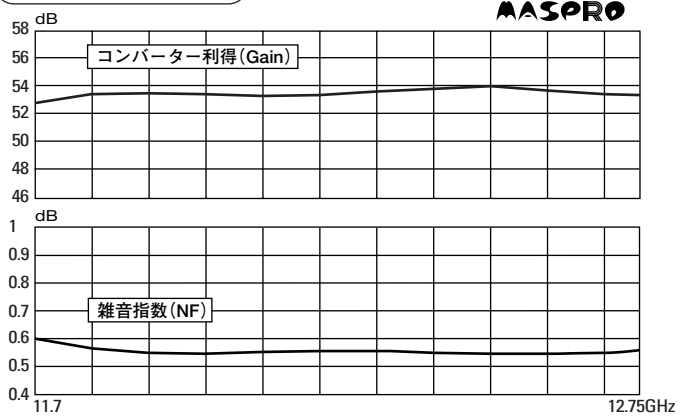
※ 受信可能風速 : アンテナに風圧を加えている間、電気的性能のG/T劣化が1dB以下であるときの最大風速です。
 復元可能風速 : アンテナに風圧を加えた後、アンテナの方向を再調整することにより電気的性能を満足する最大風速です。
 破壊風速 : アンテナに風圧を加えた後、アンテナの一部または全部が飛散しない最大風速です。

周波数特性

アンテナ部



コンバーター部



マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

付属品

- F型コネクター(5Cケーブル用).....1個
- 防水キャップ.....1個
- 結束バンド(ケーブル固定用).....1本

特 許 第3060124号
// 第3775881号
登録意匠 第 932491号
// 第1049103号

製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
マスプロ電工

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80
 技術相談 TEL名古屋 (052) 805-3366
 受付時間 9~12時, 13~17時
 (土・日・祝日, 当社休業日を除く)
 インターネットホームページ www.maspro.co.jp
 技術相談以外は, お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

- 首都圏電材(営) (03) 5469-5521
- 首都圏(シ) (03) 3499-5632
- 西日本(シ) (082) 230-2359
- 中日本(シ) (06) 6632-1144
- 北日本(シ) (022) 786-5062
- 福岡(支) (092) 551-1711
- 沖縄 (098) 854-2768
- 鹿児島 (099) 812-1200
- 宮崎 (0985) 25-3877
- 熊本 (096) 381-7626
- 長崎 (095) 864-6001

- 北九州 (093) 941-4026
- 下関 (083) 255-1130
- 広島(支) (082) 230-2351
- 松江 (0852) 21-5341
- 岡山 (086) 252-5800
- 松山 (089) 973-5656
- 高知 (088) 882-0991
- 高松 (087) 865-3666
- 大阪(支) (06) 6635-2222
- 姫路 (079) 234-6669
- 神戸 (078) 231-6111
- 京都 (075) 646-3800
- 東海(工) (052) 804-6262

- 名古屋(支) (052) 802-2233
- 津 (059) 234-0261
- 岐阜 (058) 275-0805
- 豊橋 (0532) 33-1500
- 静岡 (054) 283-2220
- 松本 (0263) 57-4625
- 福井 (0776) 23-8153
- 金沢 (076) 249-5301
- 関東(工) (03) 3499-5631
- 東京(支) (03) 3409-5505
- 新潟 (025) 287-3155
- 横浜 (045) 784-1422
- 八王子 (042) 637-1699
- 千葉 (043) 232-5335
- さいたま (048) 663-8000

- 前橋 (027) 263-3767
- 水戸 (029) 248-3870
- 宇都宮 (028) 636-1210
- 仙台(支) (022) 786-5060
- 郡山 (024) 952-0095
- 盛岡 (019) 641-1500
- 秋田 (018) 862-7523
- 青森 (017) 742-4227
- 札幌 (011) 782-0711
- 釧路 (0154) 23-8466
- 旭川 (0166) 25-3111
- (営) : 営業グループ
- (シ) : システム営業グループ
- (工) : 工事グループ